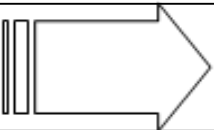


施策評価シート		登録者(課長)名【1】	スポーツ振興課長 宮坂 哲史	
		主管課(関係課)【2】	スポーツ振興課	
【施策の概要】				
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
創2-3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		多様な学びと文化・スポーツが息づくために	創造性の育つまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	健康維持に対する関心の高まりから、スポーツへの関心も高まっており、ジョギングやウォーキングなど手軽にできるスポーツをする人も多くいます。市民意識調査(平成24年9月)においても、スポーツ・レクリエーション活動が、今後最も参加したい地域活動のひとつとなっています。今後は、2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、競技スポーツはもちろん、障害者スポーツにも大きな関心が高まることが予想されており、市民ニーズにあったスポーツに親しむ機会の提供や環境づくりが求められています。		◆生涯スポーツ(する・みる・ささえるスポーツ)の環境づくり ◆スポーツ指導者の確保、スポーツ推進委員の活用と育成	市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、生涯を通してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりをめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けては、市民がよりスポーツとふれあう機会が増えるとともに、東京都による各種事業への補助等の支援が実施されており、市はこれを活用しています。 ◇スポーツ施設の老朽化が進んでおり、計画的かつ効果的な施設改修が求められています。 今後「西東京市公共施設等マネジメント基本計画」等を進める中で、スポーツ施設のあり方について検討を進めるとともに、計画的な施設改修・設備更新に取り組みます。 ◇「健康」応援都市の実現を目指す上では、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進は重要な課題の一つです。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	スポーツ環境の整備・充実とスポーツ・レクリエーション活動の支援・活性化を図ります	スポーツ環境の充実、スポーツ施設の改修、スポーツ振興事業の実施、スポーツ推進委員の活用	
	2	スポーツを通じた地域の活性化を図ります	生涯を通してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり スポーツを通じた地域の活性化	
	3	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組を進めます	オリンピック・レガシー(遺産)によるスポーツ推進 障害者スポーツの推進	

【施策の成果】				年度	24	25	26	27	28	29
成果指標【12】	指標 1	名称	「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」に対する満足度	目標値	40%			単位	%	
		算出式・説明	健康志向の高まりからスポーツへの関心が高まっており、市が行っている「スポーツ活動・イベント機会や施設など生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	29.9	29.9	29.9	28.8	28.8	33.5
				達成率	75%	75%	75%	72%	72%	84%
	指標 2	名称	スポーツ施設利用者数	目標値	784,651人			単位	人	
		算出式・説明	市民のスポーツライフの充実のためには、市民が利用しやすいスポーツ施設環境が望まれます。より多くの市民がスポーツ活動に参加できるように、スポーツ施設利用者数が増えることを目標とします。	実績値	766651	760977	780898	793084	799234	
				達成率	98%	97%	100%	101%	102%	0%
	指標 3	名称	スポーツ施設利用団体数	目標値	2,517団体			単位	団体	
		算出式・説明	市民のスポーツライフの充実のためには地域に根付いた様々なスポーツ活動団体が果たす役割が重要です。より多くの市民がスポーツをする機会が増えるように、スポーツ施設利用団体数を増やしていくことを目標とします。	実績値	1917	2087	2201	2306	2467	
				達成率	76%	83%	87%	92%	98%	0%
	指標 4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
	達成率の平均値				83%	85%	87%	88%	91%	28%

【市民意見】 【13】		24年度	27年度	29年度	
満足度(%)	29. 9%	満足度(%)	28. 7%	満足度(%)	33. 5%
満足度(平均ポイント)	0. 02	満足度(平均ポイント)	0. 11	満足度(平均ポイント)	0. 12
重要度(%)	64. 8%	重要度(%)	63. 7%	重要度(%)	69. 3%
重要度(平均ポイント)	0. 74	重要度(平均ポイント)	0. 78	重要度(平均ポイント)	0. 96

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】				
検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	☐ まだ未達成 ☒ ほぼ達成 ☐ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	☐ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☒ 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇指定管理者の導入などにより、多様な市民ニーズに対応した誰もが親しめる生涯スポーツの実現に向けて、施策を推進しています。 ◇スポーツ環境の整備については、スポーツ施設の老朽化に対応して、計画的に改修を実施する必要があります。施設整備を進めることにより利用者の満足度、利用者数の拡大に繋がる事が見込まれます。 ◇2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、庁内連携はもとより、東京都や関連団体などとも連携し、気運醸成をさらに充実していく必要があります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	☐ 弱くなっている ☐ 以前と同程度 ☒ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	☒ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☐ 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇スポーツ・レクリエーション活動の支援については、多様な市民ニーズに応えるために、指定管理者が実施する教室事業の充実や、スポーツ推進委員を活用した主催事業を行うことにより、スポーツを始めるきっかけ作りに寄与します。 ◇「西東京市公共施設等マネジメント基本計画」等を進める中で、スポーツ施設のあり方について検討を進めるとともに、計画的な施設改修・設備更新に取り組みます。 ◇西東京市のオリンピック・パラリンピックに向けた方針を定め、東京都の「2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた区市町村支援事業」に係る補助制度を活用すること等により、スポーツ振興、障害福祉、文化振興、子育て支援、教育など多面的な角度から、気運醸成の充実に取り組みます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☒ 現状維持 ☐ 効率化		
	施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		

【一次評価後の事情変更等】	
説明【23】	

総合評価	施策内容の方向性【20】	☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☒ 現状維持 ☐ 効率化
	判断理由等【24】	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進については、指定管理者制度の導入により多様な市民ニーズに対応した生涯スポーツの実現のための取組を進めています。市民意識調査結果では、前回調査と比べ満足度・重要度ともに大きな変化は見られませんが、引き続き満足度は高くなっています。しかしながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催、「健康」応援都市の実現に向けて、施策の重要性は強くなっており、実施コストを維持しつつ、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ施設のあり方を検討するとともに、方針を定め、多面的に取り組む必要があります。
	施策実施方針【22】	II 成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	1 総合型地域スポーツクラブの定着・推進	スポーツ振興課	誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの実現に向けて、地域におけるスポーツ環境の整備・充実を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立しています。平成17年度設立のにしはらスポーツクラブ及び平成23年度設立のココスポ東伏見の定着・推進のため、継続的な運営や自立に向けた支援を継続して行っています。
	スポーツ振興事業の実施	スポーツ振興課	指定管理者制度を導入することで、スポーツ・運動施設利用者のニーズにあったプログラムの提供や専門的な人材を配置することで、市民のスポーツ振興を図ります。
	スポーツ施設の改修	スポーツ振興課	平成25年度から全11施設を指定管理者による管理・運営を実施しています。指定管理者と協議を行いながら、スポーツ・運動施設改修工事の整備計画を作成し、引き続き計画的にスポーツ施設の長寿命化のために改修工事を実施します。
	スポーツ推進委員の活用	スポーツ振興課	すべての市民が自分に合ったスポーツ・レクリエーション活動を親しめるように、地域スポーツ活動に助言を行うとともに、市が実施する事業に協力し、スポーツ施策の充実を図り、市民の健康・体力の増進を図ることを目的として活用しています。
2	近隣自治体と連携したマラソン大会の開催に向けた取組	スポーツ振興課	スポーツへの参加機会を提供し、健康の増進及び市民相互の交流を図ることによる地域の活性化を促します。また、今後開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を含めた事業展開を図り、東京都の補助制度を活用し都立小金井公園での大規模なリレーマラソン大会を開催します。大会は広く小学生以上の市民等4～10名により構成されたチームを募り、襷を繋いで1周1.8kmのコースを概ね23周、合計42.195kmを走る予定です。
	スポーツ環境の充実	スポーツ振興課	学校施設を利用することは、地域住民の自主的なスポーツ活動の推進や総合型地域スポーツクラブの定着・推進を図る上で有効であると考えていることから、学校施設の開放をより促進するための学校施設の設備の充実や地域活用について、教育委員会と協議しながら進めます。
	東伏見公園のスポーツフィールド機能の充実に向けた対応	スポーツ振興課	公園におけるスポーツ施設は、生涯スポーツを推進する上で重要と考えています。関係各課と連携して、スポーツフィールド機能の充実に向けて東京都に働きかけを行います。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
3,419	2,505	914	改善・見直し (平成25年度)	中	市民のスポーツ実施率やスポーツ活動に対する満足度の向上を図るとともに地域住民の交流、地域人材の育成、地域の安全力・教育力の向上などを促進することができます。	A
317,345	314,354	2,991			指定管理者と連携を取りながら、市全体のスポーツ振興を図ることができます。	B
6,215	5,052	1,163	事業化 (平成21年度)	－	市民が安全かつ快適にスポーツ・レクリエーション活動を行えるようにスポーツ環境の向上を図ることができます。	B
7,351	5,938	1,413	改善・見直し (平成19年度)	中	スポーツ推進委員を育成し、地域の生涯スポーツ活動の支援を行い、市民の健康・体力の増進を図ることができます。	B
4,411	2,500	1,911			スポーツへの参加機会を提供し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図ります。	B
2,243	0	2,243			学校施設の開放をより促進するための学校施設の設備の充実や地域活用を行うことによってスポーツ環境の向上を図ります。	B
83	0	83			公園におけるスポーツ施設は重要であるため、関係各課と連携して、スポーツフィールド機能の充実に向けて東京都に働きかけることによってスポーツ環境の向上を目指します。	－
341,067	330,349	10,718				